



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月10日

上場会社名 株式会社トヨーアサノ 上場取引所 東・名  
 コード番号 5271 URL <https://www.toyoasano.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 植松 泰右  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 杉山 敏彦 (TEL) 055-967-3535  
 半期報告書提出予定日 2025年10月14日 配当支払開始予定日 2025年11月4日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	7,255	3.9	468	51.4	432	33.8	60	△66.7
2025年2月期中間期	6,980	△5.8	309	△45.5	323	△42.5	180	△46.6

(注) 包括利益 2026年2月期中間期 73百万円(△60.2%) 2025年2月期中間期 184百万円(△44.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	46.39	—
2025年2月期中間期	139.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	14,566	4,206	28.9
2025年2月期	16,148	4,197	26.0

(参考) 自己資本 2026年2月期中間期 4,206百万円 2025年2月期 4,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	35.00	—	50.00	85.00
2026年2月期	—	40.00			
2026年2月期(予想)			—	45.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	△3.5	680	12.1	600	0.5	150	△58.7	115.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年2月期中間期	1,440,840株	2025年2月期	1,440,840株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	145,423株	2025年2月期	145,423株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年2月期中間期	1,295,417株	2025年2月期中間期	1,295,555株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費はある程度底堅いものの、設備投資は関税引き上げによる輸出の減少、企業収益の悪化などを背景に減速しており、米国の通商政策の影響など、景気の先行きは不確実性の高い状況が続いております。

このような経営環境の認識を踏まえて、当社グループにおきましては足元の需要量の低迷および受注競争の激化に対する対処が重要な経営課題と考えております。これまで推進してまいりました中期経営計画におけるReform戦略に基づき、売上高と採算性のバランスを重視した営業活動、コスト管理の徹底およびコスト効率の改善を進めてまいりました。

また、不動産賃貸事業につきましては、安定した業績で推移しております。

セグメント毎の業績は次のとおりであります。

#### ①基礎事業

基礎事業の主力事業でありますコンクリートパイル部門の全国需要につきましては、前年同期を下回って推移いたしました。当社の主力商圏であります関東地区が前年並み、静岡地区は前年同期を大きく下回って推移いたしました。業績につきましては、売上高はおおむね期初の計画通り推移し、利益は第2四半期に完了した工事が多かったこと、Reform戦略による利益率改善の諸施策（コスト管理の徹底、コスト削減、物件別の利益管理など）が効果を上げたことなどにより、当中間連結会計期間の売上高は7,156百万円（前中間連結会計期間比4.0%増）、営業利益は757百万円（前中間連結会計期間比39.4%増）となりました。

#### ②不動産賃貸事業

当中間連結会計期間の売上高は、99百万円（前中間連結会計期間比2.5%減）、営業利益は62百万円（前中間連結会計期間比0.5%減）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は7,255百万円（前中間連結会計期間比3.9%増）、営業利益は468百万円（前中間連結会計期間比51.4%増）、経常利益は432百万円（前中間連結会計期間比33.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は、2025年8月20日付「債権の取立不能又は遅延のおそれ及び貸倒引当金繰入額（特別損失）の計上に関するお知らせ」で公表しましたとおり、貸倒引当金繰入額（特別損失）323百万円を計上しました結果、60百万円（前中間連結会計期間比66.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、1,582百万円減少して14,566百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加146百万円、建物及び構築物の増加645百万円、貸倒引当金の増加323百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少704百万円、未成工事支出金の減少717百万円、有形固定資産のその他の減少567百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、1,591百万円減少して10,360百万円となりました。これは長期借入金の減少947百万円、支払手形及び買掛金の減少502百万円、電子記録債務の減少361百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて8百万円増加して4,206百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、146百万円増加して1,129百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,322百万円の増加(前中間連結会計期間は397百万円の増加)となりました。

収入の主な内訳は、減価償却費243百万円、貸倒引当金の増加額323百万円、売上債権の減少額733百万円、棚卸資産の減少額745百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額863百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、243百万円の減少(前中間連結会計期間は310百万円の減少)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出266百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、932百万円の減少(前中間連結会計期間は323百万円の増加)となりました。

これは、主にセール・アンド・リースバックによる収入323百万円、長期借入金の返済による支出1,118百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月11日付で発表いたしました業績予想を2025年10月1日に修正しております。修正理由等につきましては2025年10月1日付「2026年2月期第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	983,112	1,129,867
受取手形、売掛金及び契約資産	3,059,891	2,355,595
電子記録債権	901,411	872,210
原材料及び貯蔵品	260,176	232,235
未成工事支出金	1,652,746	935,538
その他	55,769	53,801
貸倒引当金	-	△323,000
流動資産合計	6,913,107	5,256,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,725,978	2,371,110
土地	4,800,690	4,800,690
その他(純額)	1,408,267	840,359
有形固定資産合計	7,934,936	8,012,160
無形固定資産	406,445	402,414
投資その他の資産		
投資有価証券	334,720	355,247
退職給付に係る資産	21,366	8,547
その他	538,346	531,900
投資その他の資産合計	894,432	895,695
固定資産合計	9,235,814	9,310,269
資産合計	16,148,922	14,566,519
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,473,805	971,765
電子記録債務	1,529,743	1,168,699
短期借入金	2,145,393	1,974,757
未払法人税等	76,256	83,539
工事損失引当金	33,681	-
その他	366,928	530,670
流動負債合計	5,625,809	4,729,430
固定負債		
長期借入金	6,092,156	5,144,157
その他	233,288	486,507
固定負債合計	6,325,444	5,630,664
負債合計	11,951,253	10,360,095

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,327,278	1,327,278
利益剰余金	2,864,529	2,859,857
自己株式	△107,244	△107,244
株主資本合計	4,184,563	4,179,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,104	26,531
その他の包括利益累計額合計	13,104	26,531
純資産合計	4,197,668	4,206,423
負債純資産合計	16,148,922	14,566,519

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	6,980,296	7,255,953
売上原価	5,727,025	5,830,848
売上総利益	1,253,271	1,425,104
販売費及び一般管理費	943,595	956,106
営業利益	309,675	468,998
営業外収益		
受取利息	648	666
受取配当金	8,957	6,718
受取補償金	19,550	-
その他	9,833	6,705
営業外収益合計	38,989	14,090
営業外費用		
支払利息	24,929	46,387
その他	346	3,925
営業外費用合計	25,276	50,313
経常利益	323,388	432,776
特別利益		
固定資産売却益	16	353
補助金収入	-	29,919
特別利益合計	16	30,272
特別損失		
固定資産除却損	0	3
貸倒引当金繰入額	-	323,000
特別損失合計	0	323,003
税金等調整前中間純利益	323,404	140,045
法人税、住民税及び事業税	142,807	79,946
法人税等合計	142,807	79,946
中間純利益	180,597	60,099
親会社株主に帰属する中間純利益	180,597	60,099

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純利益	180,597	60,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,943	13,426
その他の包括利益合計	3,943	13,426
中間包括利益	184,540	73,525
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	184,540	73,525

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	323,404	140,045
減価償却費	211,139	243,251
退職給付に係る資産及び負債の増減額(△は減少)	15,462	12,818
工事損失引当金の増減額(△は減少)	4,964	△33,681
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	323,000
受取利息及び受取配当金	△9,606	△7,384
支払利息	24,929	46,387
固定資産除却損	0	3
有形固定資産売却損益(△は益)	△16	△353
補助金収入	-	△29,919
売上債権の増減額(△は増加)	503,727	733,496
棚卸資産の増減額(△は増加)	166,160	745,148
仕入債務の増減額(△は減少)	△380,048	△863,084
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,801	64,883
未収消費税等の増減額(△は増加)	5,373	5,149
その他	△148,513	53,577
小計	699,174	1,433,338
利息及び配当金の受取額	9,606	7,384
利息の支払額	△25,346	△46,140
法人税等の支払額	△296,486	△72,610
法人税等の還付額	10,450	550
営業活動によるキャッシュ・フロー	397,398	1,322,521
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△164,536	△266,877
有形固定資産の売却による収入	176	400
補助金の受取額	-	29,919
その他の収入	6,743	5,334
その他の支出	△153,155	△12,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△310,771	△243,434
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
セール・アンド・リースバックによる収入	-	323,985
リース債務の返済による支出	△76,517	△73,099
長期借入れによる収入	1,437,000	-
長期借入金の返済による支出	△985,576	△1,118,635
自己株式の取得による支出	△127	-
配当金の支払額	△51,600	△64,583
財務活動によるキャッシュ・フロー	323,178	△932,331
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	409,805	146,755
現金及び現金同等物の期首残高	1,238,452	983,112
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,648,257	1,129,867

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高					
(1)外部顧客 への売上 高	6,878,617	101,679	6,980,296	—	6,980,296
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	2,263	2,263	△2,263	—
計	6,878,617	103,942	6,982,559	△2,263	6,980,296
セグメント 利益	543,247	62,439	605,687	△296,011	309,675

(注) 1 セグメント利益の調整額△296,011千円には、セグメント間取引消去3,984千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△299,995千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の調整後の金額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高					
(1)外部顧客 への売上 高	7,156,828	99,125	7,255,953	—	7,255,953
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	2,263	2,263	△2,263	—
計	7,156,828	101,388	7,258,217	△2,263	7,255,953
セグメント 利益	757,151	62,128	819,279	△350,281	468,998

(注) 1 セグメント利益の調整額△350,281千円には、セグメント間取引消去3,984千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△354,265千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の調整後の金額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。